

にしぶんか

2020・3・31

編集・発行：横浜市西区文化協会
事務局：西区地域振興課内
電話 045 - 320 - 8392

承認西区第2号



■西区の街角 耳目シリーズ5

頂にある橋・霞橋

絵と文 益田和雄
(M-水彩スケッチ会)

霞橋は、南区との区境・久保山にあり、浜松町から浦舟町を結ぶ藤棚浦舟道路の一番高い位置にありました。

師走の弱い日差しの日、この道路を霞橋まで歩いてみました。国道1号線 浜松町からスタート、藤棚を過ぎると道は次第に上り坂に、自転車の人も腰を浮かし懸命に漕いでいます。左右に見える横道はいずれも登り坂や階段ばかり。その昔、市電を通すため山を切り開き作った切通しである事を実感しました。

道は次第に左に大きくカーブして、見通しが効かなくなったのを機に、右側の歩道に移り、見上げると、行く手を遮る様な壁が見え、進むほどに下のアーチが現れて来ました。めざす霞橋です。

橋の袂の古い石段を上りきると説明板が目につき、写真と共に「橋は昭和3年竣工の2代目である」など詳しく書かれていました。

橋上からの眺めは実に爽快。橋を過ぎた道は先程以上に急な下り坂です。その道を、まるでこの橋目掛けて登って来るかの様な、切れ目のない車の列が続いていました。